

結婚の真実 1000人調査で見たリアル
「官製婚活」で職場に波紋

「第二の森友」と安倍首相
就活「面接でウソ」は常識

AERA

昭和63年6月10日第3種郵便物認可
2017年3月20日発行
毎週月曜日発行(3月13日発売)
通巻1611号

'17.3.20

No.12

定価 390円

アエラ

ミュージシャン

電気グルーヴ



【大特集】

結婚

うまくいく人
いかない人



photo AP / アフロ

contents — 1

大特集

結婚の真実

調査

結婚 うまくいく人 いかない人

1000人アンケートでわかった「出会い」「生活」「離婚」のリアル……10

論争

家事とセックスという2大地雷原をどう渡るか……17

俳優の石田純一さんに聞く 結婚・離婚・再婚……18

対談

高須克弥×西原理恵子「異文化だからうまくいく」……20

提言

愛妻家という生き方 理想は「りゅうちえる&ぺこ」?……22

国際結婚

「ダーリンは外国人」で世界は身近になる……24

婚活

職場で「官製婚活」大きなお世話
地方婚活パーティー不発で“お上”が乗り出す新たな少子化対策……26

離婚

妻に離婚を切り出され「わが子に会えない」父親たち……28

欧州

世界の「トランプ化」はオランダ総選挙がカギ

【欧州情勢チャート付き】ナチス知らない若者はレイシストへの拒否感希薄……30

eyes 387 姜尚中



金正男暗殺から見えた 「正統と異端」の対立

北朝鮮を取り巻く環境が、金正男暗殺でより鮮明になっていきます。中国は北朝鮮からの石炭輸入を停止し、米国と北朝鮮との取引は事実上遠のきました。友好関係にあるマレーシアとの国交断絶も懸念されるなか、北朝鮮は在日米軍を標的に弾道ミサイルを同時に4発発射し、そのうち3発は日本の排他的経済水域に着弾。ミサイル迎撃システムを無力化させかねない脅威を見せつけました。

大國間の隙間を巧みに動き回る外交的戦略はそっちのけで、ただひたすら核やミサイルの力を誇示し、国内は恐怖で締め上げる体制の北朝鮮。この体制が海外にまで触手を伸ばした先に正男の暗殺があったのでしよう。今回の暗殺事件には大きな背景があります。2013年、事実上の北朝鮮ナンバー2だった張成沢の粛清です。正男の後見人でもあった張成沢を金正恩が粛清したのは、北朝鮮が中国に対して強く反発したということ。北朝鮮の政権交代の受け皿として、自分のスベアを中国が用意することを正恩は何よりも恐れています。暗殺にここまで

時間がかったたのは中国当局が一時、正男のまわりを固めていたということもありました。比喩表現として王朝と言われているように、北朝鮮は首領である金日成がつくった国であり、その首領の「主体（チュチェ）思想」を受け継ぐ世襲カリスマ的な血統原理を正統性の根拠にしています。ですから、血脈の間での「正統と異端」の対立が暗殺という形になることは、あらかじめ予測できることでした。

今後、北朝鮮はマレーシアをはじめ、ASEAN諸国からも孤立し、その行き詰まりからますます、米国を交渉のテーブルに引き出す強硬策を打ち出すでしょう。それがレッドラインを越えた時、米国は北朝鮮への先制攻撃に出るのか、それとも更なる核開発を放棄させる代わり

に現状を承認することになるのか、「戦略的忍耐」というオバマ前政権とさほど変わらない方針に落ち着くのか。

トランプ政権をめぐる米国内の激しい対立、分断とも絡んで目が離せません。軍事的衝突の可能性、逆に米朝交渉も含めて極端なシナリオが現実化することも想定すべきかもしれません。

この欄は内田樹さんと交互に執筆します。



今週の1行コピー
取り下げてモリトモ!?

contents — 2

アート	草間彌生を更新せよ ヤヨイスト熱狂「草間好きに理由なんてない」……34 一番人気はやよいちゃん「売り切れ御免」のグッズ大集合 ……43
音楽	電気グルーヴ 4年ぶりに新作リリース ……44
漫画	もっと漫画の話をしよう 浦沢直樹「漫勉」を語る ……46
就活	【就活戦線】面接で学生はこんなに「盛って」いる 1回戦敗退→「ベスト4」/企業も盛る「労働条件」は「募集要項」で見抜け……56
疑惑	「森友」と「加計」をつなぐ安倍首相との縁 ……58
子育て	PTA「退会」ブームで変わるか ……60
スポーツ	サンブラウン米国留学直前インタビュー「世界最速を目指します」 ……61
北朝鮮	弾道ミサイル4発 狙いは「中国の介入」 ……62 敵基地攻撃論は非現実的 ……63
表紙の人	電気グルーヴ・ミュージシャン……9
現代の肖像	仁藤夢乃 ・女子高校生サポートセンターColabo代表/北原みのり……48 編集長敬白……64
AERA-note	

好評連載

5	eyes 姜 尚中
7	東 浩紀
54	佐藤優の実践ニュース塾
55	ぐっちーさんの ここだけの話 小鳥慶子の 幸復のススメ!
65	オチビサン 安野百葉子
71	星野源 音楽の話をしよう
72	武蔵嘉紀 職業、ブンデスリーガー
74	はたらく夫婦カンケイ ニッポンの課長
76	エンルート
78	伊藤まさこの おいしい時間をあの人へ

AERIAL

66	アエラ 星野博美 評 読書部 「トルコ現代史 オスマン帝国崩壊からエルドアン時代まで」 この人のこの本 岸 政彦 服部みれいの 読書days
68	玉塚元一の キャプテンのテイクノート 福岡伸一の 生命探検 稲垣えみ子の アフロ画報
70	ジェーン・スーの 先日、お目に掛かりまして 厚切りジェイソンの 厚切りビジネス英語

フォトグラファー(表紙) 鮫川実花
 アートディレクター 福島源之助
 デザイナー 原 雄一/羽多野一彦/内藤真理/
 根本路子/高 理子/森田 直/
 水井健太郎
 チャートデザイナー 枝常暢子 岡山憲夫

eyes 388 東 浩紀



**こじれる築地市場の豊洲移転
石原慎太郎というスケープゴート**

築地市場の豊洲移転問題が「炎上」し続けている。現在の焦点は、膨大な土壌汚染対策費用がかかる豊洲の土地を購入したことが正当だったか否かである。購入時に知事を務めていた石原慎太郎氏が、3月3日に会見を開いた。氏は、購入手続きは正当だった、もしそれが不当ならば都民全体の責任だと述べる。この説明はスジが通っている。行政の長は住民意思の代行者にすぎない。責任があつたならともかく、手続きに則った決定について個人に結果責任を問うのは不当である。にもかかわらず、各紙は石原非難を強めている。なんとも奇妙な事態だが、背後には都民とメディアの「罪悪感」があるのではないのか。

そもそもこの問題は不必要にこじれている。豊洲に土壌汚染があり費用がかかることは以前から知られていた。移転反対を叫ぶ業者がいることも知られていた。それでも築地の老朽化があまりにひどく、ほかに案もないので豊洲移転しかないというのが、昨年の都知事選時点での都民の消極的な合意だったはずだ。以後も決定的な新事実が出てきたわけではない。にもかかわらず、いまや移転は政治的に困難になっている。この状況を作りあげたのは、「小池劇場」を煽ったメディアであり、喝采に酔い痴れた都民である。結果として残ったのは、移転延期に伴う膨大な維持費・補償費と、にもかかわらずますます改善されない食の安全だ。

都民もメディアもさすがに後悔し始めているのだろう。しかし自分たちの失敗を認めるわけにもいかず、そこで無意識に求めたのが、石原慎太郎という格好のスケープゴートだったのである。もし氏が会見で「おれがすべて悪かった」とさえ言っていれば、世論はくると反転し、いっしょに事態は終結したのではないかと、そんな気もしていないではない。けれども現実はそのようならなかった。

この問題には市場移転以外の解はない。厄介なのはそのためスケープゴートが必要になつてしまったことである。石原氏はその役割を拒否した。ではだれがその役割を担うのか。小池氏自身にならないことを切に願う。もう選挙はうんざりだ。

この欄は浜野子さんと交互に執筆します。